

# 福岡市システム刷新計画について①

## 【目的】

誰でも、いつでも、どこでも最先端の公共サービスが受けられる都市機能の実現

### 現状は？

#### ●電子自治体を巡る状況

##### ◆マイナンバー利用開始（H28.1）

- ・ 3年毎に適用範囲見直し・拡大
- ・ 独自利用は各自治体の工夫

##### ◆世界最先端 I T 国家創造宣言

- ・ H32年に向けた加速度的取組み
- ・ 保有から利用の流れ（クラウド化）
- ・ システムの共通化の推進

対応が間に合わない

#### ●福岡市の置かれている状況

- ◆ 基幹システムが大型汎用機で稼働
- ◆ 個別最適化による基盤・機能の重複
- ◆ システム間の連携が複雑  
（スパゲッティ化）

### 刷新では何をするのか？

#### ●業務プロセスを見直す

- ◆ 基幹系の業務の棚卸し、業務の標準化、簡素化
- ◆ 電子手続きの推進

#### ●システムを刷新する

- ◆ 基幹系システムのオープン化
- ◆ 機器・機能の共通化  
（共通基盤構築）

ICTガバナンスによる推進

### 何が実現できるのか？

#### ●市民サービスの向上

- ◆ 区役所待ち（所要）時間の短縮
- ◆ 手続の簡素化

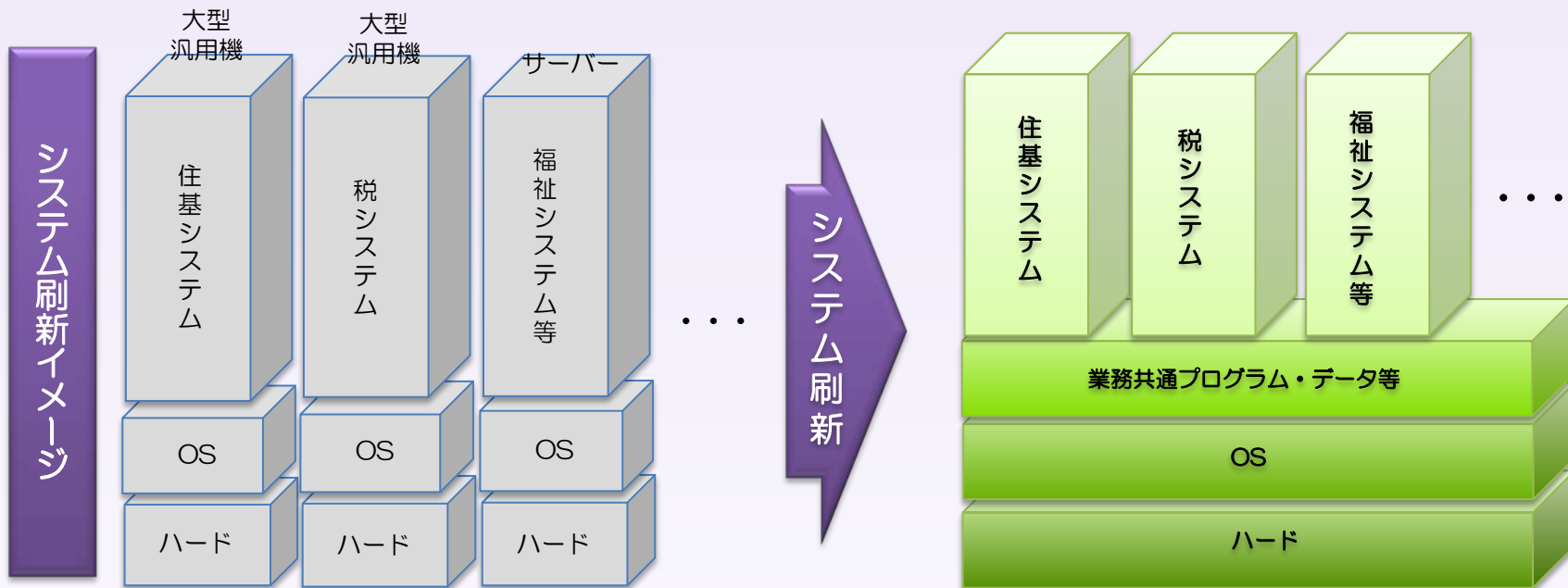
#### ●業務の効率化

- ◆ 庁内システム間をリアルタイムで連携
- ◆ マイナンバーの利用範囲拡大

#### ●経費削減

- ◆ システム運用コストを3割削減
- ◆ 業務用端末機の統合

# 福岡市システム刷新計画について②



- 大型汎用機，サーバーが混在している
- 大型汎用機システムは特定ベンダーに固定
- 大型汎用機とサーバー間で情報連携が複雑

- オープン化により，標準的な技術を利用したシステム構築
- システム資源及び業務機能の重複を排除
- 共通基盤上のシステムはマルチベンダー化